

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201237
法人名	社会福祉法人 成寿会
事業所名	グループホーム関前
所在地	愛媛県今治市関前岡村甲2574 - 3
自己評価作成日	平成22年8月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年11月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然にかこまれ穏やかな生活をされている。またその中でご利用者の知識や経験を活かせる様、又、共有した時間が過ごせるように支援している。ご家族との関係が疎遠にならないように細やかな報告を行うように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

市の担当者や市社協の方も、運営推進会議に参加して下さっている。社協と合同で七夕会を行い、地元中学生との交流もあり、後日、中学生から暑中見舞いをもらって、利用者は大変喜ばれた。毎日入浴される方や二日に1回入浴される方等、利用者の希望を聞きながら支援されている。入浴剤を入れたいと希望される方がいるが、ヒノキ風呂のため浴槽には入れず、足浴時に用いるようにされている。時には、浴槽にゆずやレモンを浮かべて楽しませられている。
「食器拭き当番票」を作って、利用者が当番でテーブルや食器を拭くようにされている。行事時にはオードブルを作り、バイキング形式で楽しめたり、誕生会には、職員と利用者でケーキを手作りしてお祝いされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム関前

(ユニット名) あこう

記入者(管理者)
氏名 安藤ゆかり

評価完了日 22年 9月 11日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 玄関など分かりやすい場所に理念を掲示し、また朝礼にて職員全員で唱和している。毎月のカンファレンスの際には、個々の状態に応じた理念に踏めて検討している。	
			(外部評価) 「自然との触れ合いを大切にし、楽しく安心できる生活」「個人の望みや今までの暮らしを尊重し、本人のできる力を活かす生活」を支援することを事業所の理念に掲げて、玄関に掲示しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 行事、地域参加に声かけて頂く度、積極的に参加し散歩の際には、挨拶を交わし声かけて頂くが訪問や立ち寄るまでには、至っていない。	
			(外部評価) 利用者は全員、広島県呉市の方が入居されている。地元の職員から地域行事の情報を得られる。散歩時には、ご近所の方と挨拶を交わしたり、声をかけてくださることもある。子供たちに事業所に来てもらえるよう「慰問の依頼書」を小・中学校、又、保育園に提出された。	11月中に管理者は、地域の中学校の福祉の勉強会に出席して、グループホームの生活の様子等をお話する予定である。管理者は、今後さらに「地域の人達にホームのことを知ってもらい、共に生活ができたらいい」又、「地域の方のために協力ができればいいと思う」と話しておられた。事業所が地域の中でどのようなことを目指していくか、ということを経験の方達にも示されて、事業所が地域の中に根付き、地域の方達と関係を深めていけるよう、事業所側から積極的にいかかわっていかれてほしい。又、災害時等、協力し合えるような関係作りに取り組んでいかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議以外では難しい面あり。見学は、自由に開放している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 色々と声かけしてみるが、参加までには至らず、地域住民の参加が、もう少し必要かと思われる。	管理者は「地域とのつながりを持つ」ことをすすめていきたいと考えておられる。事業所と地域とのさらなる関係作りに向けて、運営推進会議を活用していかれてほしい。地域の方達の立場に立ち、参加しやすいような会議の持ち方等についても工夫していかれてほしい。さらに事業所や利用者を知っていただき、関心を持ってもらえるよう、工夫を重ねていかれてほしい。
			(外部評価) 会議では、事業所の現状報告や行事、避難訓練等の活動報告や食事メニューの紹介等もされている。地域の自治会長や民生委員の方、又、利用者ご家族にも文章で会議の案内をされているが、参加をいただける方は少ないようである。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にメンバーとして参加して頂いている。緊急時の体制など色々相談にのって頂いている。	市の担当者や市社協の方も、運営推進会議に参加してくださっている。社協と合同で七夕会を行い、地元中学生との交流もあり、後日、中学生から暑中見舞いをもらって、利用者は大変喜ばれた。
			(外部評価) 市の担当者や市社協の方も、運営推進会議に参加してくださっている。社協と合同で七夕会を行い、地元中学生との交流もあり、後日、中学生から暑中見舞いをもらって、利用者は大変喜ばれた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束をしないケアを目標に個々の状態に応じて検討し、安全な生活が出来るよう工夫し対応している。身体拘束は行っていないが夜間は玄関施錠している。	事業所内の研修で「身体拘束の及ぼす影響」や「言葉による拘束」等の勉強をされた。
			(外部評価) 事業所内の研修で「身体拘束の及ぼす影響」や「言葉による拘束」等の勉強をされた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンスや朝礼などで職員の意識付けに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今までに必要な利用者おらず行っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時にはしっかりと説明を行い又、家族の意見も聞き対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が面会に来られた際など、意見を聞くようにし、サービスの向上に努めている。 (外部評価) ご家族には、利用者の日々の様子を記した「生活の様子」と行事の写真等を載せた「関前便り」を、毎月の請求書とともに郵送されており、ご家族からは「便りを見ると様子がよくわかり安心します」と感想をいただくこともある。ご家族の来訪時には、要望等を聞くようにされているが、感謝の言葉や「お願いします」と任されることが多いようである。	 ご家族との関係を深めていけるような取り組みをすすめていかれてほしい。ご家族も参加できるような行事の工夫に取組まれ、ご家族の不安や心配ごと等について聞き取るような機会を積極的に作っていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日々の業務の中で出てくる意見を聞くようにし、またカンファレンスで検討する機会を持っている。	
			(外部評価)	
			毎月のカンファレンス時に、職員は意見を出し合うようにされており「利用者の作ったリースや手芸の作品を各居室に展示しよう」との職員からの提案で、飾付けをされた。記録の様式についても職員でアイデアを出し合い、分かりやすいような様式に改善されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			賞与査定を行い業務に意欲のある職員に繁栄できる様にしている。月に1度経営者の視察があり職場環境等の評価、改善を行っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			法人内では2ヵ月に1回行っている。職場でも2ヶ月に1回課題を決め研修を行っている。外部研修についてはできていないので、これから参加するようにしたい。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			行事参加等で一緒に過ごす機会はありませんが、勉強会等には至っていない。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ゆっくりとあせらず傾聴することに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の心配事や不安を取り除くよう、しっかりと意見を聞き又、入所後のご様子の電話連絡も忘れないようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人内で連絡を取り適切なサービス利用に努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>知識や経験を活かし尊重し取り入れ、出来る力の発揮の場を提供し共有した時間が取れるようにしている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会の際には、声かけ状態の報告を行い、また毎月「日々の生活の様子」を送付し疎遠にならないよう支援している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今までのかかりつけ医をなるべく変更せず馴染みの地域で暮らせるように支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者のご自宅の近所の方が訪ねて来られ、自室や居間でお話されたり、通院時、待合室で知り合いに会っておしゃべりを楽しまれる方もある。ご家族と親戚の法要に出席された方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日々の生活のリズムを観察し穏やかな生活、めりはりある生活が過ごせる様に支援している。状況にも応じ声掛けにも配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 法人内でのサービスであれば行事参加を促し関わりを継続にしている。法人外では、困難な面もあるが、ご家族の連絡や相談を行っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活される中で小さな望みを見落とさず、又センター方式の書類を個人ケースに挟み職員がいつでも見られるよう又、書き込みができる様にしている。 (外部評価) センター方式の様式を一部採り入れ、利用者の思いや暮らしへの希望が把握できるようアセスメントされている。利用者が発した言葉の中で、思いや意向を知ることができる言葉をそのままに、介護記録に留めるようにされている。ドライブの途中でみかん畑をみて「昔は、たくさんみかんを作っていたんよ」と話してくださる方もいる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 担当のケアマネージャーからの情報や本人、ご家族からの話を大切に聞くようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の状態の変化を観察、把握し、又、センター方式の書類に記入してカンファレンスに役立てている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	各ユニット職員にてカンファレンスを行い意見を出し合い検討し統一した。ケアが出来る様に努めている。ケアプランについてケースに記録を行いケアプランの見直しに役立っている。	
			(外部評価)		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	日々の様子状況を個人ケースに記入している。バタイル表備考欄にも気づきを記入していきケー図記録に漏れがないようにしている。	
			(外部評価)		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	体調急変時の受診、定期受診の対応等ご家族の付き添いが困難な事が多いため行っている。	
			(外部評価)		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	地域のまつり、行事には積極的に参加している。地域の小学校、中学校が参加する行事には積極的に参加し交流を図っている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 通り慣れたかかりつけ医の受診を継続できる様に支援 している。ご家族の付き添い困難な事が多いため、通 院介助、定期受診の付き添いを行っている。	
			(外部評価) 利用者のかかりつけ医は、広島県呉市の病院が多く、 受診には、ご家族の協力を得ておられる。ご家族のご 都合に合わせ、職員が同行することもある。救急時に は、可能な限り隣の島まで職員が搬送し、呉市の消防 署から救急車を要請し、職員も同行している。入居時 に救急時の対応について説明されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 訪問看護ステーション等には利用していないがかかりつ け医の看護師とは、受診や往診の際には積極的にアド バイスを頂いている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院の際には必ず付き添い生活の様子などを細かく報 告、退院後にも分からないことがあれば入院先の病院 へ連絡行い状態の把握を行っている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 基本的に看取りは行っていないが緊急時の体制、対応 については、家族に説明し地域の協力をえながら支援 に取り組んでいる。	
			(外部評価) 入居時、重度化した場合や終末期のことについて、で きる支援や退所の条件、事業所では看とり支援を行わ ないことを説明されている。重度化してきた場合は、 利用者の生活の様子や体調を頻繁にご家族に伝えなが ら「転移先を病院にするか施設にするか」ご家族の希 望も聞き、法人内の他施設や医療機関を紹介されてい る。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作り通報訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署に協力を得て利用者と一緒に訓練を行っている。	
			(外部評価) 年2回、避難訓練を実施され、119番通報訓練や利用者も参加して避難誘導訓練をされた。「避難通路に物を置かない」「施設内の禁煙の徹底」等の職員から気付いたことや反省点も出された。災害時は、島内にある市役所の支所に連絡するようになっており、地元の消防団の協力は得られるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 対応が気になったときは、その場で助言や注意を行い十分に意識付けを行ってもらうように取り組んでいる。	
			(外部評価) 事業所で「職員の利用者への対応について」研修をされており、職員は、利用者との関係を保ちながら言葉遣いや対応を「馴れ馴れしくしない」ように気を付けておられる。食事時、ご飯をこぼした利用者には、職員は、耳元で「大丈夫ですよ」と声をかけ、そっとふき取っておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の暮らしの中で利用者と積極的に会話をして小さなことでも利用者の意思を尊重している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員本位のケアにならないよう意思を尊重し、その人らしさを大切に支援できる様に努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自立されている方はその人の意思にまかせ、身だしなみの確認のみ行う。介助を要する方には、しっかりと声かけ意識付けを行いながら、出来る力を発揮して頂ける様に行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 手伝う場面は、お一人お一人違いますが出来る力の発揮の場としています。利用者の希望を取り入れたメニューの変更も行っています。 (外部評価) 献立は、法人の他施設の栄養士が立て、必要な食材が人数分届くようになっており、事業所で調理をされている。ご家族から野菜等をいただき、メニューに追加することもある。調査訪問時、利用者は、酢ものきゅうりをスライスされていた。「食器拭き当番票」を作って、利用者が当番でテーブルや食器を拭くようにされている。行事時にはオードブルを作り、バイキング形式で楽しまれたり、誕生会には、職員と利用者でケーキを手作りしてお祝いされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の摂取量のチェックを行っている。摂取状態に応じた量や、食事形態等の検討を行い変更している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 状況に応じた、口内ケアの対応を行い、チェック表を記入し確実な口内ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 24時間を1時間単位に区切りトイレ誘導、排尿チェック行い。排泄の状態が分かるよう記号で分けている。	
			(外部評価) 利用者個々の排泄パターンを記録し、声かけや誘導をしてトイレで排泄できるように支援されている。食後の歯磨き時に洗面所に誘い「トイレにも行きますか」とお聞きする等、タイミングを見て声かけされている。夜間のみ、ご本人の希望で自室にポータブルトイレを置いている方もあるが、昼間は、トイレを使用できるように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 適切な運動と水分補給をしっかりと行う様にし、便秘予防行い、排便確認行っている。便秘がちな方は主治医の処方により服薬での排便コントロール行っている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 大まかには、決まっているが、その日の状況や入所者の希望も取り入れ行っている。身体の状態に応じ足浴も取り入れている。	
			(外部評価) 毎日入浴される方や二日に1回入浴される方等、利用者の希望を聞きながら支援されている。入浴剤を入れたいと希望される方がいるが、ヒノキ風呂のため浴槽には入れず、足浴時に用いるようにされている。時には、浴槽にゆずやレモンを浮かべて楽しまれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夕食後から就寝までの時間にゆとりを持ち個々のペースにあわせ、行っている。安眠を促すため、夏場は夕涼みや、冬場は足浴を行っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤表を各病院ごとにファイルし、また、薬に変更があれば、そのつど申し送り情報を共有している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 楽しみながら達成感を味わっていただけるように工夫し、後割が義務的にならないようにしている。その時の希望も取り入れ楽しみ気分転換に繋げている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や地域行事に参加、季節に応じドライブにも出かけている。	
			(外部評価) 天気のいい日は散歩に出かけたり、事業所のポーチでお茶を楽しまれたりされている。職員が、通院に同行して帰りにドライブされたり、ご家族が付き添われた時にはご自宅に立ち寄り、ゆっくりして帰る方もある。法人の他の施設の「陶芸教室」や「秋祭り」に参加される方もある。花見には、桜のきれいな隣の島へ行かれたり、買い物に出かけてお茶を楽しんで帰ることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 少額のお小遣いをご家族に契約の際に説明し預かり、預かり帳をつけて預かっている。自己管理希望者には、自己管理をして頂いている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。制限はしていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) カーテンやブラインドを使用し状態に応じ調整を行っている。共同のフロアーには季節おりおりの作品や行事の写真を飾り楽しい場になるよう工夫している。	
			(外部評価) 瀬戸内の海が見渡せる居間は、日当たりもよく「これまで、海を見て生活してきたから、ここは海も山もあるから最高よ」と話してくださる利用者もあった。テーブルには、利用者が生けた菊の花が飾られあり、壁には、折り紙で作ったコスモスの花が飾られていた。ソファーに座って利用者同士でおしゃべりされている方や刺繍をされている方も見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングに椅子を置き、好きな場所に座り他者との会話が楽しめるようにしている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 持ち込み自由なので、利用者自身が、ご家族にも馴染みの物を持ってこられる様、積極的にお願ひしている。	
			(外部評価) ベッドは、利用者個々でリースされている方が多い。ご家族の写真や職員がプレゼントした誕生カードを飾っておられたり、法人内施設の陶芸教室で作った箸置きやお皿を飾っておられる方もある。娘さんにプレゼントするマフラーを編んでいる利用者もあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 建物はバリアフリーとし、廊下・トイレ・浴室等は手すりをつけている。	
			(外部評価)	